

2025年4月21日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

**「ダイヤモンド・ザイ NISA投信グランプリ 2025」において、
当社4ファンドが最優秀賞を受賞**

～最多受賞は当グランプリ開始以来3年連続～

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」）は本日、株式会社ダイヤモンド社による「ダイヤモンド・ザイ NISA投信グランプリ 2025」において、4ファンドで最優秀賞を獲得しました。当社は本アワードにおいて3年連続で最多の受賞会社となりました。



部門	賞	ファンド名
世界株部門	最優秀賞	野村未来トレンド発見ファンドBコース(為替ヘッジなし) 【愛称:先見の明】
	最優秀賞(テーマ)	野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)
新興国株部門	最優秀賞	アジア好配当株投信
リート部門	最優秀賞(国内)	野村Jリートファンド

これらのファンドは、「個人投資家が長期で安心して保有できる、NISA対象のアクティブ型の投資信託」として、運用実績の定量評価をもとに選出されました。世界株部門の「野村未来トレンド発見ファンドBコース(為替ヘッジなし)【愛称:先見の明】」は、2015年11月の設定からまもなく10年を迎える予定で、他アワードでも多くの受賞歴があります。なお、同世界株部門の「野村世界業種別投資シリーズ(世界半導体株投資)」は2年連続、リート部門の「野村Jリートファンド」は3年連続の受賞となりました。

日本政府が「資産運用立国実現プラン」を掲げ、資産運用ビジネス高度化が求められる中、当社は今後も、世界のお客様から選ばれる、日本を代表する運用会社になることを目指して、競争力のある商品・サービスを投資家の皆様に提供していきます。

以上

【「ダイヤモンド・ザイ NISA 投信グランプリ 2025」について】

・ダイヤモンド社が発行する月刊マネー誌『ダイヤモンド・ザイ』が主体となり、「個人投資家目線で NISA で本当に買いの投信を表彰する」アワード。2023 年からスタートして今年で 3 回目。個人投資家にとって、長期で安心して保有できる投資信託を公平・中立な立場で実績の数値をもとにした完全な実力主義で選出している。評価方法の詳細は『ダイヤモンド・ザイ』2025 年 6 月号に掲載。

・評価対象:2024 年 12 月末時点で、日本国内で販売登録されており、新 NISA 対象の投資信託。5 年以上の運用実績があり(フレッシャー賞は 3 年以上 5 年未満の運用実績)、純資産 10 億円以上の投資信託。評価方法の詳細は、『ダイヤモンド・ザイ』2025 年 6 月号をご覧ください。

・「ダイヤモンド・ザイ NISA 投信グランプリ 2025」は、『ダイヤモンド・ザイ』編集部が信頼し得ると判断した過去のデータに基づいた情報提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また本グランプリは信用格付を行うものではありません。本グランプリに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は『ダイヤモンド・ザイ』編集部に帰属しており、無断転載・複製等を禁じます。

<野村アセットマネジメントからのお知らせ>

■投資信託に係るリスク・費用

【ご注意】

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

【投資信託に係るリスクについて】

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

【投資信託に係る費用について】

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2025年4月現在

<p>ご購入時手数料 《上限3.85%(税込み)》</p>	<p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p>
<p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.222%(税込み)》</p>	<p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 ※一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。</p>
<p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p>	<p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p>
<p>その他の費用</p>	<p>上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

上記は、ファンドのご紹介を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載事項は作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。記載のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。上記は過去の一定期間の実績が評価されたものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第 373 号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会